

箱根組ニュース

第348号 2022年 4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

金時山から富士は望めなかったが箱根の景色を堪能！ 打ち上げは小田原の居酒屋金時！

3月20日（日）、小田急線新宿駅発6時11分の急行新松田行きに乗車（下見の時は小田原行きだったがダイヤ改正で変わった模様）。新松田で各停小田原行きに乗り換え、小田原に7時44分着。

小田原駅東口に降り立ったのは、佐藤、井上夫妻、及川、奥村、宗像夫人、神山、入江、戸丸、伊東からの西川夫妻で総勢11名。

4番バス乗り場から、8時10分発の桃源台行きに乗車。バスは駅前を右方向に進むと、また大きく右に曲がる、小田原の外郎（うしろう）の名所が新しくお城のようになっていたのは驚いた。箱根駅伝のルートを進んでいく。蒲鉾で有名な小田原中継点から箱根湯本、塔ノ沢と箱根らしいルートだ。外郎売の中に出てくる「熱海か塔ノ沢・・・」のまさにそこをバスは進む。湯元の温泉街からは駅伝は山登りのルートになるが、バスもスイッチが入ったかのようにアクセルを踏み込んでいくようだ。駅伝のルートが

左に分かれると一段と山道になるが、やがて仙石原の穏やかな平原のような開けたエリアになる。

8時52分頃、仙石バス停に到着。仙石原の交差点はT字路になっている。左に曲がればススキで有名な仙石原や芦ノ湖方面だ。

我々は金時神社方面へまっすぐ。その先は乙女峠や御殿場方向だ、そしてその先に富士山がある。

数分で左側に公衆トイレ。身支度をしておトイレ。トイレの暖房便座がありがたい。トイレ前には駐車場と洒落た感じの土産店がある。

9時25分、出発。金時神社に向かって車道を緩やかに登って行く。左側にゼブンイレブン、太郎平バス停を通過。右の金時山荘を通過。

9時36分、公時神社入口着。右に入ってゆく。正面に金時山が見えるはずだが雲の中だ。

9時40分、数段階段を登って赤い鳥居をくぐる。右側に雄鶏の甲高い声が聞



こえる。烏骨鶏が放し飼いにされている。十数羽いるだろうか、ここの社務所で飼っているようだ。二つ目の鳥居をくぐって十段ほどの階段を上ると公時神社の本殿だ。本殿の上方に山頂の隠れた金時山の山肌が見えている。お参りをして再出発。

9時47分、山道を歩き始める。檜林の間を山道は伸びている。

10時3分、広い車道を横切る。ここで小休止。

10時10分、金時神社奥の院の標識、下見で入ってみたが、1分ほどで奥の院の小さな石の祠がある。その奥に丸く大きい岩がある。この岩が奥の院そのもののようだ。

10時18分、目の前に大きな丸い岩が現れる。真ん中あたりが斜めに大きく割れていて、しめ縄が巻いてある。岩の

収支	
繰越	27527 円
小田原打上残金	360 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	200 円
下見交通費	2056 円
現在高	25131 円

周りの下方向には木の棒がまるで岩を支えるように立ってかけてある。誰が始めたのかとても面白い。この岩は「金時宿

り石」と標識にある。小休止。岩を左に回るように進んでいく。階段状を登ると岩の後ろ側に回ってゆく。少し平坦になり笹の多い道を進んでゆく。

10時29分、仙石原から30分の地点、標識に金時山まで45分とある。一旦沢に降りるような道が今度は上りになりヒノキの間の急な道が始まる。登山客がとても多く、速いペースの人に先に行ってもらい。下りの人をおかしながら登って行く。

11時15分、明神方面との分岐に到着。右に行けば明神ヶ岳、左が金時山だ。金時山まで20分とある。

階段状の道が傾斜のきつところと付いている。一部上り下りが一方通行になっているところもある。

途中、後ろ方向を見ると大涌谷の湯けむりや箱根駒ヶ岳や仙石原、芦ノ湖方面の、景色がよく見えた。その右側には箱根の外輪山が見えている。大涌谷のロープウェイ

4月17日(日)、秩父の芝桜といちご狩り

らくだコース 歩行約2時間半

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

西武秩父駅から羊山公園の芝桜の丘に行きます。山道を通っていちご狩りの秩父フルーツファームへ、西武秩父駅に戻ります。

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 4月15日(金)までに

集合 4月17日(日) 西武池袋線
池袋駅 8:00発 急行 飯能行き
(前から3両目車内)

途中駅発

石神井公園 8:11 ひばりヶ丘 8:16
所沢 8:24 西所沢 8:28 小手指 8:30

飯能 8:48着(西武秩父線乗り換え)
8:53発 三峰口行き
西武秩父 9:48着

費用 交通費 池袋～西武秩父 片道 786 円
芝桜入園料 300 円
いちご狩り 1600 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

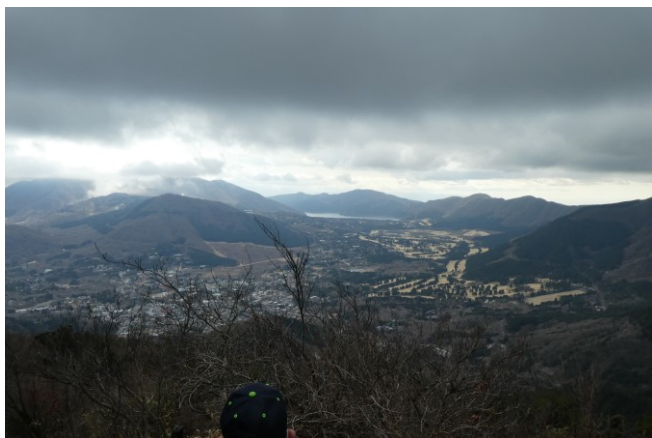
箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

も小さく小さく見えしました。

休憩を取りながら、急な傾斜を頑張つてよじ登つてゆくと、やがて少し緩やかになり、最後はあつけないように山頂エリアになる。

12時、山頂着。残念ながら富士山は雲の中。山頂の標識付近は足の踏み場もないほどの大混雑。そこで昼食会場は少し南側の岩の下あたりに決定。気温はかなり低く雪もちらついている、お湯を沸かして暖を取りながらの昼食。皆さんの持ち寄りの総菜も飛び交い寒い中でも楽しい昼食だ。そして寒さもあり早めの撤収。山頂に戻つて記念撮影。



1時13分、下山開始。上りと同じ道を下る。山頂ではガスでほとんど見えなかった仙石原、芦ノ湖、外輪山、箱根駒ヶ岳方面が見

える。滑りやすい下りを慎重に降りる。

1時43分、金時神社との分岐着。小休止。上りは金時神社からだつたが、まっすぐ明神ヶ岳方面に下つてゆく。仙石原まで40分とある。身長よりも高い笹原の間の登山道を下る。少し先の笹原の景色が絨毯のように美しい。雨が少し落ちてきているがそれほど強くはない。

2時16分、矢倉沢峠うぐいす茶屋に到着、最近では営業していないようだ。仮設トイレは有る。ここから明神方面に少し行き左に降りると、昨年開通した箱根金時ラインの金時見晴らしパーキングが出来たらしい。ここから登れば、1時間5分で山頂に行けるようだ。

さて、仙石原に向かつて降りてゆく。背の高い笹原のトンネルを抜け降りてゆく。

2時50分、新しく階段を整備しているところを迂回して降りてゆくと別荘地のような集落に降りる。その間を真っすぐ下つてゆく。

3時15分、朝のトイレの広場に到着。専用の洗い場で靴やストックを洗つて、身支度を直して仙石バス停に向かう。

3時25分、仙石バス停に到着。

小田原行きのバスに乗車。朝のコースを逆に小田原駅に向かつてゆく。途中までは順調だったが渋滞しているという

運転手さんの案内で登山電車に乗³り換えることに。

スイッチバックで有名な大平台駅で登山電車に乗り換え。登山電車は途中でもう一回スイッチバックして箱根湯本駅に到着。箱根湯本から小田原行きに乗り換え小田原駅に無事到着。駅のホームで解散。

5時頃、打上したい9名は、小田原で下車して東口に降りる。一件目に目星をつけていたお店は満員で入れずに、南方向にお店があるということで行つてみたが満員。

そこで少し街の中を店を探してうろうろとする。あわや難民になるかと思つたところ、実はもう一軒、居酒屋金時という老舗の店を探してあつたのだがその店が見えたのでダメもとで「9名入れますか」と聞いたたら、「少しお待ちください」と、152分で「どうぞ」ということに。小田原で美味しいビールとお魚の夢がかなった。

評判通りの美味しい魚で、特に刺身が美味しかった。思わず盛り上がって声が大きくなるのを気にしながらも2時間ほどの宴会を楽しんだ。

すっかり夜になった小田原駅前に戻つて帰路につく。伊東の西川夫妻とはこれお別れ。10時前に東京に到着した。金時山に居酒屋金時、最高でした。

